

屋久島国立公園だより

2008.11.1

環境省屋久島自然保護官事務所 (屋久島世界遺産センター内)

〒891-4311 屋久島町安房前岳 2739-343 TEL:46-2992, FAX:46-2977

E-mail: RO-YAKUSHIMA@env.go.jp

世界遺産登録 15 周年!

屋久島が世界自然遺産に登録されたのは 1993 年 12 月 11 日のこと(登録が決定したのは 9 日)、それから 15 年が経とうとしています。

皆様は 1993 年がどんな年だったか覚えていらっしゃいますか? 曙が外国人力士として初めて横綱に昇進し、Jリーグが開幕し、皇太子様が雅子様とご結婚され、細川連立政権が発足し、冷夏による不作で平成米騒動が起き、サッカー日本代表がロスタイムの失点でワールドカップ出場を逃し(ドーハの悲劇)、ヨーロッパ連合(EU)が発足した年でした。

そんな 1993 年の 12 月世界遺産登録や、映画「もののけ姫」等で屋久島が有名になり、観光客は増え続け、平成 19 年度の屋久島への入込数は世界遺産登録前の 1.9 倍強の 40 万人を超える状況となっています。ガイド事業者の方も増え、屋久島を訪れたたくさんの方々が屋久島の自然を堪能満喫しています。

しかし、屋久島を訪れるたくさんの方に屋久島の素晴らしさを知ってもらいたい! 素晴らしさを体験してもらいたい! そんな思いがある一方で、ゴミ問題や山岳部におけるし尿処理、踏圧による登山道の荒廃等の自然環境への負荷の増大等も生じているのも事実です。特に縄文杉登山者数は大きく増加しており、近年ではゴールデンウィーク等は大変な混雑状況となっています。



世界遺産登録にあたって、大きなきっかけとなったものに、鹿児島県が策定した「環境文化村構想」という計画と事業の実践がありました。環境文化村構想とは、一言でいえば「自然を基軸とした新たな地域づくりの試み」で、「共生」「循環」「参加・交流」「国際」「環境学習」の 5 つの理念を構想の柱としています。その構想を基にして、これまで様々な取り組みが行われてきました。

二つあった町が一つにまとまり、また世界遺産登録から 15 周年を迎えた今、今一度これから屋久島はどのように発展していくべきなのかを問ういい機会です。

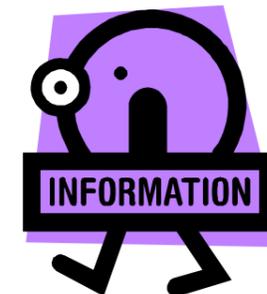
そこで「環境文化村構想」の創設に関わった方も交えて、世界遺産登録 15 周年を振り返るシンポジウムの開催を 12 月 20 日に屋久島町安房総合センターで予定しています。詳細は未定ですが、また追ってお知らせいたしますので、是非是非島民の皆様のご参加をお待ちしております。

「自然に親しむ集い」

太鼓岩周辺観察会 のご案内

平成 20 年 11 月 30 日(日)

主催:九州地方環境事務所、(財)屋久島環境文化財団、屋久島町
白谷雲水峡から太鼓岩方面を散策し、動植物の観察を行う。



1. 実施場所

屋久島町 宮之浦 白谷雲水峡内

2. 集合場所

屋久島世界遺産センター前	8 時 15 分
屋久島離島開発総合センター	8 時 45 分

3. 解散場所

屋久島離島開発総合センター	15 時 35 分
屋久島世界遺産センター前	16 時 10 分

4. 応募方法

11 月 20 日(木) ~ 27 日(木) の間に、電話、メール、ファックスにて、屋久島自然保護官事務所までご応募ください。メール・ファックスの場合は、必ず住所・氏名・自宅の電話番号をご記入ください。

なお、応募は「先着順」とさせていただきますので、宜しくお願いします。

5. 募集人数

15 名、参加資格は、中学生以上とします。

6. 参加料(保険料)

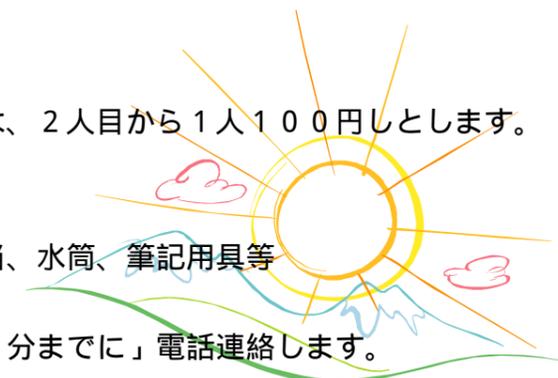
1 人 300 円。なお、ご家族で参加される場合は、2 人目から 1 人 100 円とします。

7. 服装、持ち物など

活動しやすい服装、登山靴、雨具、タオル、弁当、水筒、筆記用具等

8. その他

悪天候等のため中止する場合は、「当日 7 時 10 分までに」電話連絡します。



「自然に親しむ集い」のお知らせは、屋久島町のご協力により配布されています。